

安
安心・安全

学
深い学び

健
心と体の健康

2023
4

作成：士幌町教育委員会

第3回全体・連携会議～「目指す士幌っ子」像の熟議

3月20日（月）に士幌町学校運営協議会第3回全体・連携会議を行いました。

令和4年度の活動状況報告では各校(園)で多くの「地域学校協働活動」が展開され、学校(園)にも地域にも“子どもを真ん中にwin-win”な関係が生まれてきていることが報告されました。また、令和5年度の学校(園)経営方針には、運営協議会で出された意見が反映されていることが確認されました。



学校を核とした地域力強化プラン

令和5年度予算額(案) 77億円
(前年度予算額) 74億円



- 背景・課題**
- ▶ 少子高齢化、地域のつながりの希薄化等により、子供を取り巻く地域力が衰退している。また、学校における働き方改革への対応、いじめ・不登校、児童虐待の増大等、学校や家庭が抱える課題も複雑化・困難化しており、学校・家庭・地域それぞれでの対応では限界が生じている。
 - ▶ **学校のみならず、家庭や地域住民等が相互に連携・協働して、地域全体で子供たちの成長を担うことが課題**となっている。
 - ▶ 自治体が、それぞれの課題やニーズに応じた効果的な取組を実施できるよう、複数の事業を組み合わせた総合的な支援を実施する。

- 事業内容**
- ① ● 学校・家庭・地域の連携・協働体制の構築
● 地域の多様な関係者の参画による地域の特色を生かした教育活動の実施
 - ② ● **学校・家庭・地域が一体となって、子供を取り巻く課題を解決できる地域を目指す**
 - ③ ● **地域全体で子供たちの成長を支える社会の実現**
● 学校を核とした地域活性化に寄与

その後、次年度に向け左の資料などを示し、「①の段階が現在士幌町ではだいぶ進んできている。今後②以降の段階に進んでいくためには「目指す士幌っ子像」の共有が大事になる」ということを確認しました。

その後、各校(園)の運営協議会委員で“目指す士幌っ子像”についての熟議を行い、以下のように「キーワード」を出し合いました。

<p>故郷に誇りを持つ リアル体験(ほんもの) 避難訓練など命を守る＝他業種協働で 大人の本気と責任と義務!</p>	<p>幼 小 中 高</p>	<p>士幌への愛着 自然(農業)心(あいさつ) 人と人のつながり(見守り) 夢 チャレンジ 開拓魂 予測できない時代を生き抜く力 士幌高の取組 第6次産業 地元のよさを知り、誇りをもつ</p>
<p>太田寛一の精神 農村ユートピア 士幌の開拓スピリッツを子どもたちにも持ってもらう 助け合い 協働の理念 文化創造 温故知新 幼小中高連携～老人と子ども、異年齢交流、助け合い支え合う精神</p>		<p>自分から動く プラスαを聞いてほしい コミュニケーションできる人 「受け身」の解決方法→体験・実践・ICT 成人年齢引き下げ、インターネット時代→地域の人に伝える役割 交流</p>

次年度は、今回出された“目指す士幌っ子像”を全体会議で明確にし、それを連携会議で運営協議会（CS：学校教育）と地域学校協働活動（社会教育）が「一体的」に「共有」することで、上記資料の②以降に進んでいくことを目指していきます。

◆今年度、学校(園)運営協議会に携われた皆さん、ご協力ありがとうございました。◆子どもも学校も、関わった地域の大人も、「笑顔」になる機会が生まれ始めたことを嬉しく思います。◆笑顔の輪が一步一步広がっていくことが何よりの願いです。◆先月号のこの欄に「2009のダルビッシュのように、優勝決定のマウンドで雄叫びをあげるオオタニサンが見たい!!」と書きました。その通りになりましたね! 笑顔を超えて、感涙でした。(渋谷)